

男子体操競技情報 27 号 追加情報

(公財) 日本体操協会
審判委員会体操競技男子審判本部

技の認定に関して、国際体操連盟／男子体操競技技術委員会 (FIG/MTC) からの情報を確認できましたので、お知らせいたします。なお、ニュースレターが発表され次第、その内容を含めた情報 27 号改訂版を通達致します。

本情報は、平成 31 年 4 月 1 日から適用と致します。

1. あん馬

以下に記載する技は特例として、開始において正面支持の体勢がなくても技を認定する。

すでに認められ、浸透している技も含めて掲載する。

1) マジャー移動からシバド移動

現行ルール通り。マジャー移動で馬端縦向き外向き背面支持に至った後、ただちにシバド移動を実施した場合、正面支持がなくても認められる。

2) ポメル上の横向き正面支持から、両足入力で 1/4 上向き転向しながら片手をあん部馬背におろし、縦向き後ろ移動 (1/2 部分)。(現行



3) 馬端横向き正面支持から、両足入力で 1/4 上向き転向しながら縦向き背面支持、ただちに縦向き 3/3 後ろ移動 (シバド)



4) 馬端横向き正面支持から、両足入力で 1/4 上向き転向しながら縦向き背面支持、ただちにロス (ウ・グオニアンも同様)



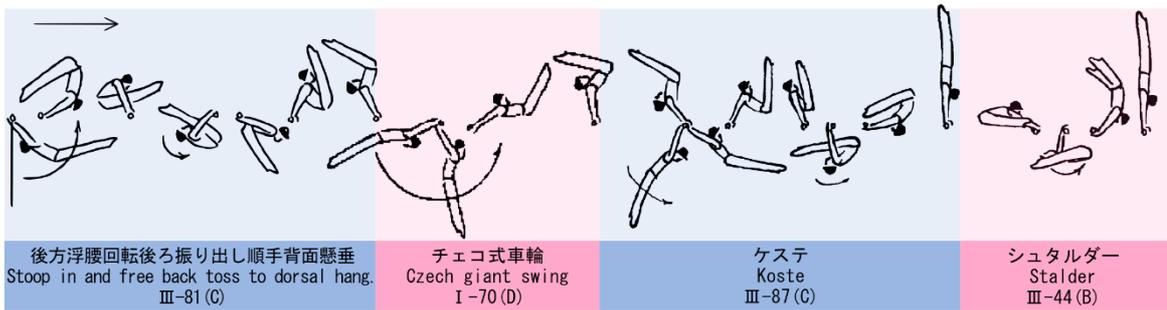
2. 鉄棒

1) 順手背面懸垂前振り上がり後方浮腰回転倒立（ケステ）の終末局面の捌きについて

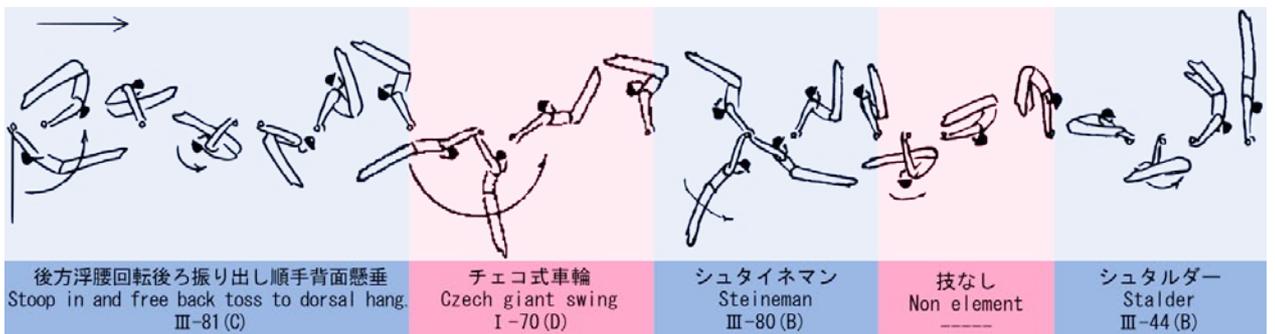
男子体操競技情報 27号 《別刷》23ページ、鉄棒 2.演技実施上の確認事項 17)に記載した通達事項について、想定される複数の捌きの判定について FIG から確認が得られた詳細を以下に記載します。

解説) 順手背面懸垂前振り上がり後方浮腰回転倒立（ケステ）の終末局面で足を抜いたのち、即座にシュタルダーに持ち込む場合、倒立に収めなくても減点の対象にはならない。ただし、技の捌きにおける技術欠点、姿勢欠点は相応に減点される。

① 後方浮腰回転後ろ振り出し順手背面懸垂 (C) ~チェコ式車輪 (D) ~ケステ (C) ※終末局面が倒立~シュタルダー (B)

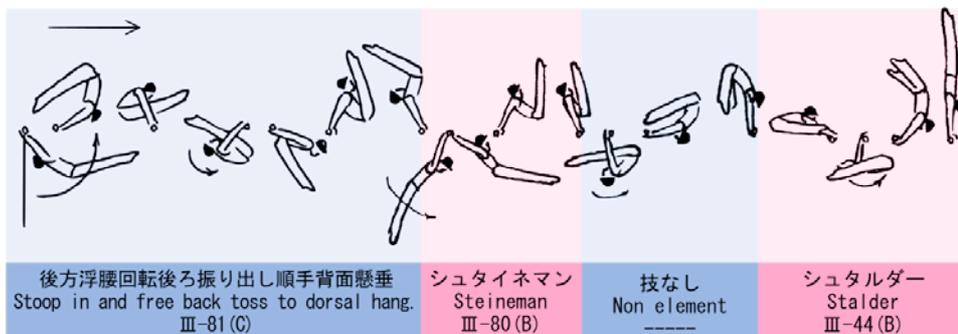


② 後方浮腰回転後ろ振り出し順手背面懸垂 (C) ~チェコ式車輪 (D) ~シュタイネマン (B) ~後方浮腰回転支持（難度無し）※終末局面を倒立に収めない~シュタルダー (B)



※この連続性の捌きに対する減点はないが、姿勢および技術欠点には通常通りに対応する。

③ 後方浮腰回転後ろ振り出し順手背面懸垂 (C) ~シュタイネマン (B) ~後方浮腰回転支持（難度無し）※終末局面を倒立に収めない~シュタルダー (B)



※この連続性の捌きに対する減点はないが、姿勢および技術欠点には通常通りに対応する。

以上